

令和6年度 船越小学校 学校評価報告書

1 児童・保護者・職員評価							
めざす 学校像	評価項目	対象	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	わからない
知 確 かな 知 性	1. 児童たちは、自分から進んで学習に取り組んでいる。	児童	38.7%	47.8%	9.7%	0.9%	2.8%
		保護者	18.4%	57.1%	19.7%	3.9%	1.0%
	2. 児童たちは目標を定めたり、計画を立てたりして学習に取り組んでいる。	児童	39.0%	38.7%	14.2%	3.4%	4.6%
		保護者	11.3%	41.6%	37.7%	8.1%	1.3%
	3. 児童たちは、分からないことがあったら本やパソコンで調べたり、人に聞いたりして取り組んでいる。	児童	65.1%	25.0%	7.1%	1.5%	1.2%
		保護者	25.2%	54.8%	15.2%	3.5%	1.3%
徳 豊 かな 心	4. 児童たちは「おはようございます・こんにちは・さようなら・ありがとう・ごめんなさい」等が言えている。	児童	70.7%	24.7%	2.8%	0.3%	1.5%
		保護者	27.4%	55.5%	15.2%	1.3%	0.6%
	5. 児童たちは、友達や周りの人に思いやりの気持ちをもって接している。	児童	52.6%	38.4%	4.6%	1.2%	3.1%
		保護者	32.3%	60.0%	4.5%	0.6%	2.6%
	6. 児童たちは、自分には良いところがあることや、自分の長所を知っている。	児童	51.4%	29.4%	7.7%	3.1%	8.4%
		保護者	24.8%	57.7%	12.9%	0.3%	4.2%
体 健 や かな 体	7. 児童たちはうがい・手洗いをしたり、ハンカチ・ティッシュを常に持っていたりして、健康に気を付けている。	児童	80.0%	4.9%	10.2%	3.1%	1.8%
		保護者	28.7%	46.8%	21.0%	2.6%	1.0%
	8. 児童たちは、運動や体を動かす遊びに進んで取り組んでいる。	児童	65.6%	19.7%	10.6%	2.5%	1.6%
		保護者	38.4%	38.1%	20.3%	2.3%	1.0%
	9. 児童たちは、安全に気を付けて生活している。	児童	60.6%	28.9%	7.4%	0.6%	2.5%
		保護者	33.5%	59.0%	6.1%	0.0%	1.3%
10	『学校いじめ防止基本方針』について自分は、児童の気持ちを理解することに努めながらいじめ防止に取り組んでいる。	児童	70.1%	19.4%	4.0%	0.9%	5.6%
		保護者	24.5%	59.4%	5.2%	1.3%	9.7%
11	『学校いじめ防止基本方針』について自分は、いじめ等問題が起きたときは素早く対応し、家庭と連携を図っている。	児童	72.6%	16.3%	3.1%	0.9%	7.1%
		保護者	30.6%	56.8%	3.2%	1.3%	8.1%

2 保護者アンケート（自由記述）の主な意見 ※一部抜粋

☆確かな知性

・もし学校から月や学期を通しての目標などを教えてもらえると、家庭でもそれに沿って指導できるのでいいかなと思いました。

・大怪我をした際にオンラインで授業を受講でき、助かりました。柔軟な対応がとても良かったです。ありがとうございました。

・テストの時間がクラスごと異なるので、時間を統一する、もしくはもう少し長くして取り組むことは難しいでしょうか？

☆豊かな心

・担任の先生方、担任を持たない先生方も、児童の顔と名前を覚えていて下さり、目線を児童と同じに下げて、目を見て挨拶して下さることがとても良いことだと思います。

・挨拶が自分からする子がいないと思います。普段から地域の方々に顔を知ってもらおうと、何かしら防犯にもつながると思います。

・マニュアル通りの対応だけではなく、状況に応じて（単発の問題か継続的か、双方にある問題か、一方的か）の対応をお願いしたいです。

・児童の特性、発達の凹凸を受け入れ、伸びようとする児童の姿を応援してもらえたらと思います。

☆健やかな体

・黙食が本当に子ども達にとって必要なのか、今一度ご検討願いたいです。

・上半身や体幹を鍛えるような取り組みがあるといいと思います。

☆その他

・5月、校門前で不審者に遭遇し、声を掛けられるという事案がありました。学校の外とはいえ、正門前で起きた事ですので、もう少し対策を考えて頂いた方が良いのではと感じます。

3 アンケート結果を受けての考察・改善案

☆確かな知性

船越小学校では、児童の「知りたい・学びたい」という気持ちを喚起させ、主体的・対話的に学べる授業を目指しています。そのために学年間はもちろん、学年を超えても授業を見合う研修の場を設け、児童の実態に合わせた最適な学習ができるように話し合っています。また、テストの実施時間等の詳細な部分についても確認し合い、さらに柔軟に対応できるよう努めていきます。

☆豊かな心

船越小学校の児童は明るく素直で、優しい子が多いことは職員全員が共通認識しています。ご家庭や地域の温かい声掛けや見守りがあってのことと感謝しております。挨拶については、児童よりも保護者の方ができていないのではないかと感じていることが分かりました。学校側も個人の差が大きいことを感じています。来年度に向けての話し合いの中で課題として検討中です。いじめ対策に関しては子供の様子をよく見て、アンケートや子供との会話などから些細な変化やサインを見逃さず、早期発見と未然防止に努めていきます。また、いじめに関わる事案が起きたときには、いじめ対策委員会を機能させ、学校体制で取り組んでいきます。不審者情報に関しては、学校が得た情報があれば、さくら連絡網等でお知らせしていきます。

☆健やかな体

衛生・安全面に関しては比較的にできているととらえている児童や保護者が多かったです。給食については、5月以降は基本的に黙食は実施しておりませんでした。しかし、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が年間を通して流行し、それに合わせて適宜黙食を実施したため、必然的に黙食の回数が増えてしまいました。感染が落ち着いている時期はグループ形態での食事も検討しましたが、それに対して強い抵抗感をもつ児童もいますので、どのような方法がより多くの児童の要望に応えられるか検討していきます。

4 学校関係者評価

☆確かな知性

- ・学習に関して学校側が取り組んでいることは信頼している。アンケート結果にも表れている。
- ・子供たちが目標を立てて学習に取り組めるように支援してほしい。
- ・タブレット型端末のパスワードは子供が変える必要がある。

☆豊かな心

- ・いじめ対応に熱心に取り組んでいる様子が見られる。今後も継続してほしい。
- ・不審者情報が学校に入ったら、すぐに地域にも知らせしてほしい。見回りに出たい。

☆健やかな体

- ・体を鍛えるための活動が必要であれば、CSでやれる人がいると思う。有効に使ってほしい。

☆その他

- ・学校ボランティアを組織化（協力していく仕組みづくり）していきたい。
- ・児童も保護者も地域も良い学校だと感じている。今の良いところは継続して、自己肯定感を高めたり、やる気を引き出したりするように支援・指導していただきたい。

5 改善策

☆確かな知性

今後は単元ごとに明確な学習計画を示したり、立てた目標を可視化したりして、常に意識できるような働きかけをしていく。

☆豊かな心

「自分には良いところがある」とあまり感じていない児童が2割近くいる。学校生活全般を通して、児童が居場所を感じたり、達成感や満足感を得られるような場を設けたりして、自己肯定感を高めていけるように図る。また、いじめ対策に関してはいじめ対策委員会を機能させ、学校体制で取り組んでいく。

☆健やかな体

体を動かすことに関しては運動委員会がイベントを企画して、実施しているので、今後もこのような機会を設け、だんだんと児童の自主的な行動につながっていくような声掛け等をしていく。